

## 和歌山での囲碁普及を目指す ～19×19×19 (Nineteen Cubed)

今回は、和歌山で囲碁普及を目指すために立ち上がった団体「19×19×19 (Nineteen Cubed)」をご紹介します。代表の木村直登さんにお話をうかがいました。

**囲碁を通して広がる、広げるコミュニティ**  
元々はいろいろなコミュニティで囲碁を教えた木村さん。自身は高校生の時から囲碁を始め、囲碁歴は20年以上です。和歌山県出身では75年ぶりとなる日本棋院所属のプロ棋士、西岡正織さんと木村さんの交流の延長で、プロとアマチュアの交流が始まりました。さらに囲碁愛好家のふれあいの場をつくりたいとして、最初はZOOMなどのインターネットを介した集まりをスタート。それが好評だったため、活動を軌道に乗せるために団体を設立しました。

**団体名の由来**  
少し特徴的な団体名ですが、まず囲碁そのものは19×19の盤面です。競技としての盤面、平面としての「19×19」だけでなく、囲碁を通して人と人との交流などを図るために「×19」



を加えて団体名に。また「×」には「VS」という意味があるため、新型コロナウイルス「COVID-19」に對して負けない、という思いも込められています。さらに、活動を通じて培った人の輪や知見を誰もが気軽に取り出して活用できる、学びや遊びの場としての道具「箱」、おもちや「箱」のような役割を担えたら、という意味込められており、多様な意味が持たされている団体名となっています。

### 和歌山囲碁界の更なる発展を目指す

去年3月の発足から、今までの10回以上のイベントを開催し、団体として確かな手応えを感じているそうです。直近では西岡正織さんがプロ三段に昇格した際の記念イベントも大好評でした。和歌山だけでなく、ウェブ上での反響も大きく、さらに日本棋院が発行す



碁石を使ってQRコードを作成！実際に19×19×19のウェブサイトにつながります

る新聞一週「刊」でも取り上げられるなど、一地方のイベントの枠を超えての企画ができました。和歌山での囲碁イベントとして、70人以上というこれまでにならぬ人数を集めたこと、あつて、地方でもこれだけのことができるという成功体験は今後の活動をするうえで大きな自信となったそうです。

木村さんは「自分の企画・運営の趣旨に賛同して、応援してくれる人がいるのはやりがいがあります。お客さんとして参加するだけでなく、企画運営すること、相互発展で良くなることを目指していくのが理想形だそう。これまでとも囲碁に興味を持っていて人や経験者、現在進行形で囲碁を楽しんでいる人を対象としたイベントを多く行ってきましたが、囲碁に触れたことのない人への興味をもつてもらうための

(阪口晃彦)



(写真上) イベントにて、左から石田篤司九段とお弟子さん、西岡正織三段、木村代表、大森らん初段、安田明夏初段 (写真下) お花見碁会 in 和歌山城の様子

**19×19×19 (Nineteen Cubed)**  
<https://sites.google.com/view/19cubed/>

## シンポジウム 人と人のつながりが実感できる居場所づくり

新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に生活困窮者の増加や、孤立・孤独が大きな影を落としています。SDGsの大切な視点である「誰一人取り残さない」社会づくりの重要性がますます高まり、全世代対応型の居場所づくりへの期待が高まっています。社会的弱者を支えることの意義のほか、孤独・孤立対策、命を守る活動の視点として、多様な年齢層を守る居場所としての活動の可能性を探ります。

日時 9月11日(日) 13:00～16:00  
場所 和歌山ビッグ愛9階会議室 A+ZOOM 配信  
参加費 無料(右のQRコードからお申し込み下さい)  
定員 会場30名、オンライン30名



講演 「全世代対応型の居場所は地域のインフラ、準自治会の役割を果たす。」  
講師 湯浅誠さん(東京大学先端科学技術研究センター特任教授、認定特定非営利活動法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ理事長)

パネルディスカッション  
●パネラー・・・岡定紀さん(NPO法人子ども食堂わかやま理事長)、久保田泰造さん(和歌山中央医療生活協同組合副理事長)、佐藤昌吾さん(一般社団法人はっす子えがおサポートばれぼれ理事長)、田中那津美さん(すさみ町教育委員会集落支援員すさみ町多世代交流施設E'cora)、樋川守さん(新宮市民生児童委員)、湯浅誠さん(50音順)  
●ファシリテーター・・・志場久起(認定NPO法人わかやまNPOセンター理事長)

主催 認定特定非営利活動法人わかやまNPOセンター(073-424-2223・info@wnc.jp)  
共催 近畿労働金庫  
後援 和歌山県、公益社団法人和歌山県労働者福祉協議会、和歌山県生活協同組合連合会  
本事業は、近畿労働金庫と関西各地のNPO支援機関が連携してSDGsのローガンである「誰一人取り残さない」社会づくりに向け取り組むを進める「近畿ろうきんNPOパートナーシップ制度」の一環で開催します。

## 和歌山市NPO・ボランティア推進協議会だより

### 交流会 | 喫茶ボランティア

日時 9月16日(金) 18:30～20:30  
場所 和歌山市地域フロンティアセンター(フォルテワジマ6階)  
対象 和歌山市内で活動するNPO・ボランティア団体のメンバーのみ  
内容 日常のNPO・ボランティア活動に関する意見交換  
参加費 無料  
定員 25名(申し込み不要)  
主催 和歌山市NPO・ボランティア推進協議会(nopec930@gmail.com)  
備考 喫茶と銘打っていますが、新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から今回飲食物の提供はありません

### イベント | 第18回旧中筋家寄席

日時 9月17日(土) 13:30～15:30  
場所 旧中筋家住宅(和歌山市欄直)  
演目 ん返し(福々亭マスケ)、こばなし(わくわく亭マカリ)、子ども落語(わくわく亭リズム)、音楽漫談(キラキラ亭夢子)、動物園(美鬱亭八苦)、三味線(シャ-ミ衣奈)、落語(楽落亭花徳)  
参加費 無料ですが、旧中筋家入館料100円が必要  
定員 25名(申し込み不要)  
主催 わかやま楽落会(090-9864-1344・katoku0716@outlook.jp)

## SAVE JAPAN プロジェクト 2021-2022 オオムラサキ

昨年12月から実施してまいりましたSAVE JAPAN プロジェクト「オオムラサキ探検隊! 出動!!」は7月3日に無事にすべての事業を終了しました。

定員をはるかに上回る参加申し込みをいただき、急ぎ定員を拡大しましたが、それでも多くの方にご参加いただけなかったことを深くお詫言申し上げます。

当日の様子はSAVE JAPAN プロジェクト公式サイトに掲載しているほか、YouTube「わかやま生き物チャンネル」でもご紹介いたしますので、ぜひご覧ください。

全日程終了しました

SAVE JAPAN プロジェクト公式サイト  
(スマートフォンでの閲覧には対応していません)  
<https://savejapan-pj.net/sj2021/wakayama/>

YouTube  
「わかやま生き物チャンネル」  
<https://bit.ly/3JFK8m0>  
主催: 認定NPO法人わかやまNPOセンター  
共催: NPO法人根来山げんきの森倶楽部  
NPO法人わかやま環境ネットワーク  
協力: 認定NPO法人日本NPOセンター  
後援: 和歌山県、和歌山県教育委員会、和歌山市、和歌山市教育委員会、岩出市、岩出市教育委員会、紀の川市、紀の川市教育委員会  
協賛: 損害保険ジャパン株式会社